

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-5 生活衛生の充実

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 薬事衛生課長 伊藤 耕 電話番号 0852-22-5257

事務事業の名称	動物管理等対策事業	
目的	(1) 対象	県民（特に動物飼育者）
	(2) 意図	動物愛護思想、適正飼養の定着を図り、動物による環境侵害等の発生を防止する
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 動物保護管理等対策事業：動物による環境侵害等の改善を図るため、犬猫の引き取り・処分、不適正飼養者の指導、動物取扱施設等の監視・指導・許可を行う。 動物愛護推進事業：動物愛護思想、適正飼養の定着を図るため、住民に対し、広報、講演会、講習会、議会の開催等を行う。 狂犬病予防対策事業：狂犬病のまん延防止を図るため、犬の登録、狂犬病予防注射及び適正飼育について普及啓発する。 化製場等対策事業：環境汚染の防止を図るため、化製場等に対し、法に基づき監視・指導を行う。 	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			犬・ねこ引取り頭数	目標値		2,500	2,250	
式・定義	犬・ねこ引取り頭数	実績値	2,129	2,261	1,766	1,554		
		達成率		109.60	121.50	122.30		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値	0.00	0.00				
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	28,075	30,033
うち一般財源(千円)	27,275	29,172

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・引取りの内訳は、犬284頭、猫1,270匹であり、依然として猫の引き取りが多い状況である。また、平成26年度の引取りは、犬26頭、猫186匹の減少となった。

H17：4,636 H18：4,181 H19：3,209 H20：2,868 H21：2,564 H22：2,554
 H23：2,129 H24：2,261 H25：1,766 H26：1,554

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・平成26年度の引取りは、1,554まで減少し目標値の2,000を大きく下回り、各種の取り組みの成果が見られる。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 猫の引き取りが多い
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 飼い主がいらない猫の増加
- ③原因を解消するための「課題」
- 平成24年度から、出雲保健所敷地内に設置した動物愛護棟で、TNR事業（猫の保護、避妊・去勢、保護した場所に戻す）に取り組んでいるが、引き続き実施する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・犬猫の引取処分数を減少するためには、飼い主のいない猫対策、子猫対策が重要であり、直ちに効果は現れないが、市町村、動物愛護団体等の協力を得て、飼い主のいない猫対策事業を引き続き実施する必要がある。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）